

## 募 集

# 平成 29 年度 帯広畜産大学「生産獣医療技術研修」募集

国立大学法人帯広畜産大学では、生産獣医療技術研修を開催します。

**目 的：**生産獣医学を中心に、家畜飼養・栄養学、家畜管理学、飼料作物学、酪農経営学などを体系的に学習し、産業動物臨床獣医師の資質向上を図る。

**方 法：**大学での集合研修を受講者の経験年数に応じて『基礎コース』と『発展コース』に分けて実施。さらに希望される方にはフォローアップ研修を行い、生産獣医療技術の定着を図る。

### ◎フォローアップ研修

集合研修終了後に受講者自身が地元で牛群検診を実施し、血液サンプルを大学に送付して分析、返送される検査結果を受講者自身が診断してメールで大学に送付、それを添削することで、牛群検診スキルの確実な習得を目指す。

**期 間：**

#### 【基礎コース】

平成 29 年 8 月 7 日(月)～8 月 11 日(金) 9:00～17:00

#### 【発展コース】

平成 29 年 8 月 28 日(月)～9 月 1 日(金) 9:00～17:00

※最終日は両コース共に 16:30 終了予定

**研修内容：**

| 日 程   | 基礎コース<br>(牛群検診の基本技術)<br>8 月 7 日～8 月 11 日 | 発展コース<br>(牛群検診の実践技術)<br>8 月 28 日～9 月 1 日     |
|-------|--|--|
| 1 日 目 | ・乳牛の飼料・栄養に関する用語解説<br>・飼料品質鑑定法            | ・乳検データの評価<br>・事例演習：牛群検診の準備から指導まで             |
| 2 日 目 | ・アニマルウェルフェアとカウコンフォート<br>・乳検データの見方と活用     | ・貯蔵飼料の品質鑑定<br>・飼料給与診断と飼料設計                   |
| 3 日 目 | ・飼料給与診断と飼料設計 (CNCPS)<br>・BCS、RFS の評価と活用  | ・牛群検診現地実習<br>・飼料給与診断と飼料設計 (CNCPS/AMTS)       |
| 4 日 目 | ・牛群検診・代謝プロファイルテストの原理と活用                  | ・代謝プロファイルテストの診断<br>・牧草の特徴と見分け方<br>・乳牛疾病と酪農経営 |
| 5 日 目 | ・牛群検診結果の説明<br>・総合質疑                      | ・農家への結果説明と指導の実際<br>・事例発表会<br>・総合質疑           |

**場 所：**帯広畜産大学畜産フィールド科学センター

**募集人数：**

#### 【基礎コース】

牛群検診未経験の産業動物臨床獣医師(20～40名程度)

#### 【発展コース】

同 経験を有する産業動物臨床獣医師 (20名程度)

**受講料：**40,000 円 (集合研修の教材費) または、

77,500 円 (フォローアップ希望者、集合研修

の教材費+フォローアップ研修の血液検査料)

**支払方法：**

○払込：申込み受付後に送付される払込取扱票により、開講日の1週間前までに支払い。

○現金：研修初日に受付にて支払い。

**昼 食：**弁当 (800 円/日) の希望者は要注文

弁当代は研修初日の受付時に支払い。

注文後のキャンセルは不可。

**申込方法：**受講申込書に必要事項を記入のうえ、FAX

または郵送で以下へ送付。

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

国立大学法人帯広畜産大学

国際・地域連携課

FAX：0155-49-5289

**申込期限：**平成 29 年 7 月 7 日(金)

**その他：**ホテルは各自で、市内ホテル等を予約。

JR 帯広駅南側から毎日無料送迎バスを運行する予定。

**問合せ先：**

○研修内容に関すること

帯広畜産大学畜産フィールド科学センター

教授 木田克弥

☎ 0155-49-5652 FAX 0155-49-5654

E-mail: kidak@obihiro.ac.jp

ホームページ: <http://www.obihiro.ac.jp/~fcasa/extension.html>

○受付に関すること

帯広畜産大学 国際・地域連携課 (担当: 小島)

☎ 0155-49-5776 FAX 0155-49-5289

E-mail: syogai@obihiro.ac.jp

## 募 集

◎研修獣医師

# 平成 30 年度 日本獣医生命科学大学付属動物医療センター

## 1. 応募資格

前期課程：

獣医師免許取得（見込）者で臨床研修（獣医師法第 16 条の 2）未修の者

後期課程：

獣医師免許取得者で、獣医師法第 16 条の 2 に定める、大学の獣医学に関する学部若しくは学科の付属の診療施設等において臨床研修を 1 年以上経験した者

## 2. 募集人数

前期課程：8 名（新卒，既卒問わず）

後期課程：若干名

## 3. 研修事項

臨床獣医学一般

（研修プログラムは本学ホームページを参照）

## 4. 選考日

平成 29 年 9 月初旬を予定

## 5. 応募期間

平成 29 年 6 月 1 日（木）～平成 29 年 8 月 25 日（金）

必着

## 6. 選考方法

書類選考並びに面接

## 7. 研修期間

前期課程：1 年

平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

後期課程：2 年

平成 31 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日

※前期課程 1 年，後期課程 2 年の 3 年間課程が望ましい。

## 8. 必要書類

応募者は、(1)～(7)の書類を揃えて提出のこと。書類(1)，(2)，(3)，(4)は、本学所定の様式とし、本学ホームページから入手するか、下記宛に請求のこと。ただし、(4)については本学の定期健康診断を受診している場合は、事務部が発行する健康診断書を提出しても差し支えない。

- (1) 研修獣医師採用願
- (2) 誓約書
- (3) 履歴書（写真貼付）
- (4) 健康診断書
- (5) 卒業〔見込〕証明書（本学卒業〔見込〕者は不要）
- (6) 成績証明書（本学卒業〔見込〕者は不要）
- (7) 獣医師免許証の写し（取得見込者は、取得後直ちに提出すること）

## 9. 処 遇

研修獣医師就業規則に基づく。

## 10. 提出先

〒180-8602 東京都武蔵野市境南町 1-7-1

日本獣医生命科学大学 庶務課庶務係

TEL 0422-31-4151 FAX 0422-33-2094

## 紹介

◎新刊

## 獣医学の狩人たち

## 20世紀の獣医偉人列伝

酒井健夫（日本大学名誉教授）

この度、大竹 修博士の執筆による「獣医学の狩人たち 20世紀の獣医偉人列伝」（A5版、406ページ、定価本体2,400円＋税）が、大阪公立大学共同出版会（〒599-8531 大阪府堺市中央区学園町1-1 大阪府立大学内、TEL 072-251-6533 FAX 072-254-9539）から出版された。

19世紀後半、明治新政府が招聘したヤンソン師（東大）やカッター師（北大）の薫陶を受けた新進気鋭の若き獣医学研究者達が、大学や軍隊でそれぞれの専門領域で活躍することによって、わが国の近代獣医学の基礎が築かれた。本書は、その獣医学黎明期の俊英たちによって築きあげられた近代獣医学を、移り行く20世紀の動乱の中でさらに発展させた28名の獣医学研究者達を、次のように紹介している。

梅野信吉「牛痘苗と狂犬病ワクチンの創始者」、葛西勝弥「人材育成の名人で家畜衛生学の先達」、板垣四郎「獣医寄生虫学を確立」、松葉重雄「競走馬の研究に生涯を捧げた外科の泰斗」、増井 清「ひよこの雌雄鑑別法を開発」、市川厚一「幻に終わったノーベル賞」、黒澤亮助「獣医外科・産科学の巨頭」、山極三郎「顕微鏡とともに歩んだ偉大な神経病理学者」、木全春生「麻酔・自律神経研究の権威」、越智勇一「学会議長を務めた獣医界の巨星」、吉田信行「NOSAI獣医師育ての親」、古賀忠道「日本の動物園を育てた名園長」、平戸勝七「北大に獣医学部を創った微生物学者」、小野 豊「肝蛭症研究の第一人者」、山本修太郎「レプトスピラ症の研究で日本学士院賞」、板垣啓三郎「天皇と畏敬された鶏病学者」、山下次郎「エキノコックスの生態を明らかにした寄生虫学者」、三浦定夫「ワラビ中毒・

白血病の研究に捧げた学者人生」、中村 寛「不朽の名著科学技術者としての獣医師のありよう」、久米精治「犬糸状虫症撲滅への道を拓く」、五十嵐幸男「産業動物臨床獣医師の鑑」、黒川和雄「犬フィラリア症の心臓手術に挑んだ外科医」、白井和哉「オールマイティの国際獣医学者」、其田三夫「名著牛の臨床を世に出した臨床学者」、原 茂「NOSAI出身の大学教授1号」、大野 乾「ノーベル賞を超えた男と言われた生物学者」、竹内 啓「臨床獣医学の発展、獣医師の地位向上、動物愛護に尽くした超人」、増井光子「女性獣医学者の草分け」。

著者の大竹 修博士は、NOSAI岡山家畜臨床研修所所長及び日本産業動物獣医学会副会長等を歴任され、平成22年には日本獣医師会学術功労賞を授与されている。このように、産業動物臨床獣医師として豊富な経験のある著者が、自らが収集し、また構築したネットワークで集めた膨大な資料に基づいて、各人の生い立ち、新分野での開拓や新発見に至る苦労の過程、国際的な活躍などを、エピソードを交えながら、平易に解説し取りまとめている。特に、巧妙なタッチとユーモアを加えて書き上げた本書は、大変読みごたえがある。著者が「あとがき」で、「本書が獣医学史の理解の一助となり、学生の参考書として利用され、また一般社会の人々に獣医偉人伝として受け入れられたら、望外の幸せである」と述べていることが、ぜひ実現されることを期待し、新刊の紹介と書評とする。

著 者：大竹 修

発 行：大阪公立大学共同出版会

発売日：2017年5月1日

定 価：2,592円（税込み）

体 裁：単行本 ソフトカバー 412頁

問合せ：大阪公立大学共同出版会（OMUP）

事務局

TEL 072-251-6533

FAX 072-254-9539

E-mail : omup@hs.osakafu-u.ac.jp

## 行事等

5月10日：獣医師賠償責任保険中央審議会

5月12日：第19回小動物臨床委員会  
：業務運営幹部会

5月15日：犬猫殺処分ゼロを目指す動物愛護議員連盟ヒ  
アリングに境専務理事，北村顧問出席

5月19日：第3回役員候補者推薦管理委員会

5月22日：第1回認定動物看護師地位向上推進協議会に

酒井副会長，境専務理事出席

5月24～25日：平成28年度決算監査会

5月25日：第1回理事会

：全国動物薬品器材協会懇談会に境専務理事出  
席

：第29回総務委員会

：第22回産業動物臨床・家畜共済委員会

5月31日：動物感謝デー企画委員会

：畜産技術協会第1回理事会に境専務理事出席